# 平成25年度

第3回市政モニターアンケート

暴力追放運動について

## 目 次

I 調査の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
Ⅱ 市政モニターの構成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
Ⅲ 調査結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
(1) 市の相談窓口の認知度・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
(2) 市の暴力追放に向けた取組みの認知度・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
(3) 活動内容の認知度・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
(4) 暴力団等から不当な要求を受けた経験の有無・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5
(5) 不当な要求を受けた場合の対応・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6
(6) 不当な要求を受けた場合誰(どこ)に相談するか・・・・・・・・・・	7
(7) 暴力追放の住民運動への協力意向・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8
(8) 暴力追放の住民運動に協力したくない理由・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	9
(9) 暴力団を利用してのもめごと処理についての考え・・・・・・・・	10
(10) 暴力団の利用を「やむを得ない」「悪くはない」と思う理由 ・・・・	11
(11) 暴力団はどうして存在すると思うか・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	12
(12) 北九州のイメ―ジについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	13
(13) 北九州市には以前と比べて変わったと思うか・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	14
(14) 暴力追放についての意見・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	15
Ⅳ 全体考察 ·····	18

#### Ι 調査の概要

調査対象者 市政モニター 150人

回答者数 138人(回収率92%)

調査実施日 平成25年 7月 8日から 7月26日

実施方法 調査票による郵送及びインターネット調査

調査実施課 市民文化スポーツ局広聴課 14.582-2527

調査依頼課 市民文化スポーツ局安全・安心推進課 14.582-2911

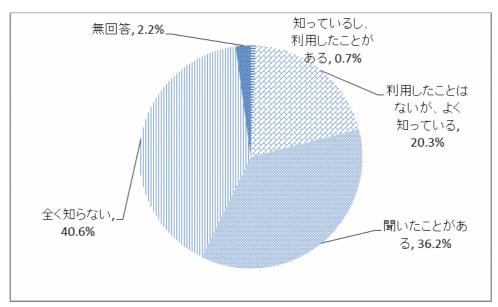
#### Ⅱ 市政モニターの構成

区分	合計	男性	女性	区分	合計	男性	女性
全体	150	61	89		区	別	
土体	( 100.0% )	( 40.7% )	( 59.3% )	門司区	16	6	10
				l leie	( 10.7% )	( 4.0% )	( 6.7% )
20歳代	12	5	7	小倉北区	28	11	17
	( 8.0% )	( 3.3% )	( 4.7% )		( 18.7% )	( 7.3% )	( 11.3% )
00 HE / IN							
30歳代	42	8	34	小倉南区	32	14	18
***************************************	( 28.0% )	( 5.3% )	( 22.7% )	***************************************	( 21.3% )	( 9.3% )	( 12.0% )
   40歳代	22	3	19	若松区	13	6	7
TO JUST C	( 14.7% )	( 2.0% )	( 12.7% )	11146	( 8.7% )	( 4.0% )	( 4.7% )
50歳代	19	10	9	八幡東区	12	6	6
***************************************	( 12.7% )	( 6.7% )	( 6.0% )	***************************************	( 8.0% )	( 4.0% )	( 4.0% )
60歳代	39	21	18	八幡西区	40	14	26
	( 26.0% )	( 14.0% )	( 12.0% )		( 26.7% )	( 9.3% )	( 17.3% )
704E151				— .m ==			_
70歳以上	16	14	2	戸畑区	9	4	5
	( 10.7% )	( 9.3% )	( 1.3% )		( 6.0% )	( 2.7% )	( 3.3% )

<sup>※</sup> 数値の単位未満は四捨五入を原則としましたので、総数と内容の合計は一致しない場合があります。

#### Ⅲ 調査結果

間1 市役所内に民事介入暴力の被害相談窓口が設置されていることを知っていますか。

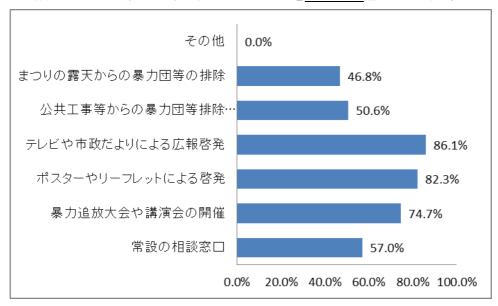


		□	知っている	利用したこ			
		答	し、利用し	とはない	聞いたこと	全く知らな	细同梦
		者	たことがあ	が、よく知っ	がある	い	無回答
		数	る	ている			
	全体	138人	0.7%	20.3%	36.2%	40.6%	2.2%
性	男性	53人	1.9%	35.8%	32.1%	28.3%	1.9%
別	女性	85人	0.0%	10.6%	38.8%	48.2%	2.4%
	20歳代	9人	0.0%	11.1%	11.1%	77.8%	0.0%
 	30歳代	39人	0.0%	7.7%	33.3%	56.4%	2.6%
年齢	40歳代	21人	0.0%	14.3%	47.6%	38.1%	0.0%
別	50歳代	17人	0.0%	5.9%	35.3%	52.9%	5.9%
נינ <i>ו</i>	60歳代	37人	0.0%	32.4%	43.2%	21.6%	2.7%
	70歳以上	15人	6.7%	53.3%	26.7%	13.3%	0.0%
	門司区	21人	0.0%	23.8%	47.6%	28.6%	0.0%
	小倉北区	27人	0.0%	14.8%	40.7%	37.0%	7.4%
	小倉南区	30人	0.0%	20.0%	36.7%	40.0%	3.3%
区	若松区	9人	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%
別	八幡東区	12人	0.0%	8.3%	33.3%	58.3%	0.0%
	八幡西区	32人	3.1%	25.0%	28.1%	43.8%	0.0%
	戸畑区	7人	0.0%	14.3%	28.6%	57.1%	0.0%

「知っている」「聞いたことがある」の合計は57.2だった。「全く知らない」が40.6%で、うち、年齢別では20歳代の77.8%。また無回答が3件あった。

#### 問2 〈問1で「1」、「2」、「3」いずれかを答えた方におたずねします。〉

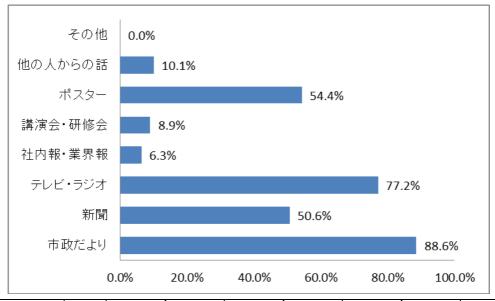
2-1市の暴力追放に向けた取り組みの中で、知っているものをいくつでも選んでください。



		回答者数	常設の相談 窓口	暴力追放 大会や講 演会の開 催	ポスターや リーフレット による啓発	テレビや市 政だよりに よる広報啓 発	公共工事 等から等排 力は対策 議(暴排式) の開催	まつりの露 天からの暴 カ団等の 排除	その他
全	:体	79人	57.0%	74.7%	82.3%	86.1%	50.6%	46.8%	0.0%
性別	男性	37人	59.5%	78.4%	70.3%	83.8%	56.8%	45.9%	0.0%
ות בו	女性	42人	54.8%	71.4%	92.9%	88.1%	45.2%	47.6%	0.0%
	20歳代	2人	0.0%	50.0%	50.0%	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	30歳代	16人	50.0%	75.0%	93.8%	87.5%	56.3%	62.5%	0.0%
年齢別	40歳代	13人	46.2%	61.5%	92.3%	92.3%	53.8%	30.8%	0.0%
十一断力力	50歳代	7人	57.1%	57.1%	85.7%	100.0%	57.1%	71.4%	0.0%
	60歳代	28人	57.1%	85.7%	78.6%	85.7%	39.3%	39.3%	0.0%
	70歳以上	13人	84.6%	76.9%	69.2%	69.2%	61.5%	53.8%	0.0%
	門司区	15人	66.7%	73.3%	80.0%	100.0%	66.7%	40.0%	0.0%
	小倉北区	15人	60.0%	93.3%	100.0%	73.3%	40.0%	40.0%	0.0%
	小倉南区	17人	41.2%	76.5%	88.2%	88.2%	58.8%	58.8%	0.0%
区別	若松区	6人	50.0%	66.7%	66.7%	83.3%	16.7%	50.0%	0.0%
	八幡東区	5人	80.0%	40.0%	60.0%	100.0%	40.0%	40.0%	0.0%
	八幡西区	18人	61.1%	66.7%	72.2%	83.3%	55.6%	50.0%	0.0%
	戸畑区	3人	33.3%	100.0%	100.0%	66.7%	33.3%	33.3%	0.0%

1位、2位は「テレビや市政だよりによる広報啓発」「ポスターやリーフレットによる啓発」は前回の調査と順位は同じであった、また、「暴力追放大会や講演会の開催」が3位で認知度が上がっている

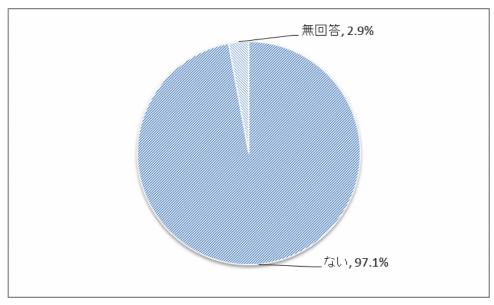
#### **2-2**あなたは、その活動を何によって知りましたか。次の中からいくつでも選んでください。



		回答者数	市政だよ り	新聞	テレビ・ラ ジオ	社内報• 業界報	講演会· 研修会	ポスター	他の人からの話	その他
全	:体	79人	88.6%	50.6%	77.2%	6.3%	8.9%	54.4%	10.1%	0.0%
小牛 早山	男性	37人	78.4%	56.8%	78.4%	8.1%	13.5%	56.8%	8.1%	0.0%
性別	女性	42人	97.6%	45.2%	76.2%	4.8%	4.8%	52.4%	11.9%	0.0%
	20歳代	2人	0.0%	50.0%	100.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	30歳代	16人	81.3%	43.8%	56.3%	6.3%	12.5%	50.0%	25.0%	0.0%
年齢別	40歳代	13人	100.0%	30.8%	69.2%	15.4%	0.0%	46.2%	7.7%	0.0%
十田7月	50歳代	7人	100.0%	42.9%	100.0%	14.3%	0.0%	57.1%	0.0%	0.0%
	60歳代	28人	96.4%	60.7%	82.1%	3.6%	10.7%	53.6%	3.6%	0.0%
	70歳以上	13人	76.9%	61.5%	84.6%	0.0%	15.4%	69.2%	15.4%	0.0%
	門司区	15人	100.0%	46.7%	80.0%	6.7%	0.0%	33.3%	6.7%	0.0%
	小倉北区	15人	93.3%	60.0%	80.0%	6.7%	13.3%	66.7%	20.0%	0.0%
	小倉南区	17人	82.4%	52.9%	70.6%	11.8%	11.8%	64.7%	17.6%	0.0%
区別	若松区	6人	100.0%	50.0%	66.7%	0.0%	0.0%	83.3%	0.0%	0.0%
	八幡東区	5人	100.0%	20.0%	60.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	八幡西区	18人	77.8%	50.0%	83.3%	0.0%	11.1%	55.6%	0.0%	0.0%
	戸畑区	3人	66.7%	66.7%	100.0%	0.0%	33.3%	66.7%	33.3%	0.0%

「市政だより」と回答した人が1位で88.6%、続いて2位が「テレビ・ラジオ」の77.2%、「ポスター」が3位で54.4%となった。

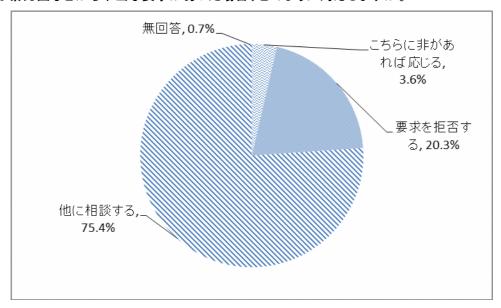
**問3** あなた自身やあなたの家族・会社が、過去5年間に北九州市内において暴力団から「ゆすり」「たかり」など、 不当な要求を受けたことがありますか。また、受けたことがある方は、いつ頃ですか



			ある	ない	無回答
	全体		0.0%	97.1%	2.9%
.h4- D.I	里性		0.0%	98.1%	1.9%
性別	女性	85人	0.0%	96.5%	3.5%
	20歳代	9人	0.0%	100.0%	0.0%
	30歳代	39人	0.0%	97.4%	2.6%
左松叫	40歳代	21人	0.0%	95.2%	4.8%
年齢別	50歳代	17人	0.0%	94.1%	5.9%
	60歳代	37人	0.0%	97.3%	2.7%
	70歳以上	15人	0.0%	100.0%	0.0%
	門司区	21人	0.0%	100.0%	0.0%
	小倉北区	27人	0.0%	88.9%	11.1%
	小倉南区	30人	0.0%	96.7%	3.3%
区別	若松区	9人	0.0%	100.0%	0.0%
	八幡東区	12人	0.0%	100.0%	0.0%
	八幡西区	32人	0.0%	100.0%	0.0%
	戸畑区	7人	0.0%	100.0%	0.0%

「ある」と答えた人は、今回調査ではO人だった。

間4 あなたは暴力団などから不当な要求があった場合、どのように対応しますか。



		回 答 数	要求に応じる	要求が過 少であれ ば応じる	こちらに非 があれば 応じる	要求を拒否する	他に相談する	その他	無回答
全体		138人	0.0%	0.0%	3.6%	20.3%	75.4%	0.0%	0.7%
性別	男性	53人	0.0%	0.0%	3.8%	34.0%	62.3%	0.0%	0.0%
土力	女性	85人	0.0%	0.0%	3.5%	11.8%	83.5%	0.0%	1.2%
	20歳代	9人	0.0%	0.0%	22.2%	22.2%	55.6%	0.0%	0.0%
	30歳代	39人	0.0%	0.0%	2.6%	10.3%	87.2%	0.0%	0.0%
   年齢別	40歳代	21人	0.0%	0.0%	4.8%	14.3%	81.0%	0.0%	0.0%
十一图777	50歳代	17人	0.0%	0.0%	0.0%	23.5%	76.5%	0.0%	0.0%
	60歳代	37人	0.0%	0.0%	0.0%	27.0%	70.3%	0.0%	2.7%
	70歳以上	15人	0.0%	0.0%	6.7%	33.3%	60.0%	0.0%	0.0%
	門司区	21人	0.0%	0.0%	0.0%	9.5%	90.5%	0.0%	0.0%
	小倉北区	27人	0.0%	0.0%	7.4%	18.5%	74.1%	0.0%	0.0%
	小倉南区	30人	0.0%	0.0%	3.3%	16.7%	76.7%	0.0%	3.3%
区別	若松区	9人	0.0%	0.0%	0.0%	44.4%	55.6%	0.0%	0.0%
	八幡東区	12人	0.0%	0.0%	8.3%	16.7%	75.0%	0.0%	0.0%
	八幡西区	32人	0.0%	0.0%	3.1%	25.0%	71.9%	0.0%	0.0%
	戸畑区	7人	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%	71.4%	0.0%	0.0%

1位は「他に相談する」が 75.4%で、2位の「要求を拒否する」が 20.3%だった。「要求に応じる」「要求が過少であれば応じる」が共に 0%、「こちらに非があれば応じる」が 3.6%だった。

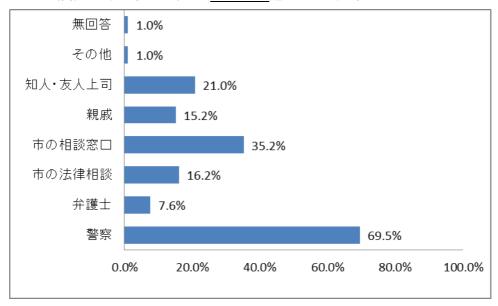
## <問5は、<u>問4で「1要求に応じる」と答えた方</u>におたずねします>

問5 要求に応じるのは何故ですか。1つだけ選んでください。

※「要求に応じる」と答えた人は0人だったので、該当なし

### <問6は、<u>問4で「5他に相談する」と答えた方</u>におたずねします>

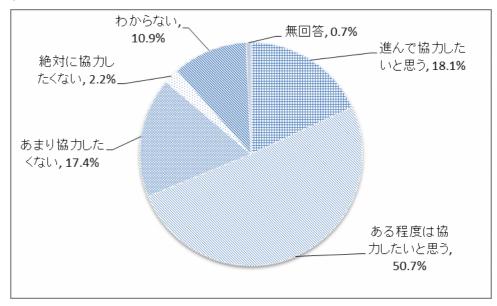
問6 そのことを誰(どこ)に相談しますか。次の中からいくつでも選んでください。



		回答者数	警察	弁護士	市の法律 相談	市の相談 窓口	親戚	知人·友人 上司	その他	無回答
全	҈体	105人	69.5%	7.6%	16.2%	35.2%	15.2%	21.0%	1.0%	1.0%
₩ D1	男性	33人	66.7%	9.1%	15.2%	33.3%	3.0%	9.1%	0.0%	0.0%
性別	女性	72人	70.8%	6.9%	16.7%	36.1%	20.8%	26.4%	1.4%	1.4%
	20歳代	5人	100.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%
	30歳代	35人	71.4%	8.6%	11.4%	34.3%	22.9%	14.3%	2.9%	0.0%
左 * *	40歳代	17人	88.2%	0.0%	5.9%	29.4%	5.9%	11.8%	0.0%	0.0%
年齢別	50歳代	13人	61.5%	15.4%	30.8%	15.4%	7.7%	30.8%	0.0%	0.0%
	60歳代	26人	65.4%	7.7%	26.9%	50.0%	19.2%	34.6%	0.0%	3.8%
	70歳以上	9人	33.3%	0.0%	11.1%	55.6%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%
	門司区	19人	63.2%	10.5%	10.5%	47.4%	5.3%	21.1%	0.0%	0.0%
	小倉北区	20人	65.0%	5.0%	25.0%	20.0%	5.0%	15.0%	0.0%	5.0%
	小倉南区	23人	78.3%	8.7%	8.7%	39.1%	26.1%	26.1%	4.3%	0.0%
区別	若松区	5人	40.0%	20.0%	40.0%	60.0%	20.0%	40.0%	0.0%	0.0%
	八幡東区	9人	77.8%	0.0%	11.1%	33.3%	11.1%	11.1%	0.0%	0.0%
	八幡西区	24人	66.7%	8.3%	20.8%	29.2%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%
	戸畑区	5人	100.0%	0.0%	0.0%	40.0%	40.0%	40.0%	0.0%	0.0%

「警察」と答えた人が 69.5%で1位である。「市の相談窓口」は 35.2%で警察に次いで2位であった。

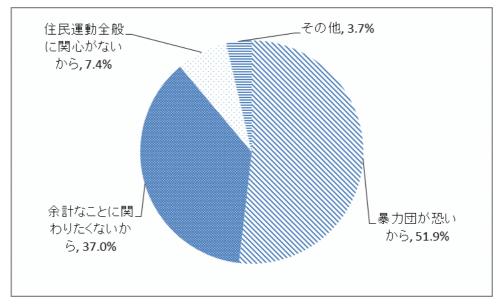
**問7** あなたの住んでいるところで暴力追放の住民運動が起きたら、あなたは協力したいと思いますか。1つだけ 選んでください。



		回答者数	進んで協 カしたいと 思う	ある程度は 協力したい と思う	あまり協力 したくない	絶対に協 力したくな い	わからない	無回答
全体		138人	18.1%	50.7%	17.4%	2.2%	10.9%	0.7%
性別	男性	53人	30.2%	56.6%	7.5%	0.0%	5.7%	0.0%
生列	女性	85人	10.6%	47.1%	23.5%	3.5%	14.1%	1.2%
	20歳代	9人	22.2%	22.2%	44.4%	11.1%	0.0%	0.0%
	30歳代	39人	10.3%	46.2%	28.2%	2.6%	12.8%	0.0%
年齢別	40歳代	21人	9.5%	57.1%	19.0%	0.0%	14.3%	0.0%
<del>1 </del> 困	50歳代	17人	29.4%	41.2%	17.6%	0.0%	11.8%	0.0%
	60歳代	37人	16.2%	62.2%	5.4%	2.7%	10.8%	2.7%
	70歳以上	15人	40.0%	53.3%	0.0%	0.0%	6.7%	0.0%
	門司区	21人	23.8%	47.6%	14.3%	0.0%	9.5%	4.8%
	小倉北区	27人	11.1%	63.0%	14.8%	3.7%	7.4%	0.0%
	小倉南区	30人	13.3%	43.3%	33.3%	0.0%	10.0%	0.0%
区別	若松区	9人	22.2%	77.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	八幡東区	12人	25.0%	33.3%	16.7%	0.0%	25.0%	0.0%
	八幡西区	32人	21.9%	50.0%	6.3%	6.3%	15.6%	0.0%
	戸畑区	7人	14.3%	42.9%	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%

「進んで協力したい」「ある程度は協力したい」を合計すると 68.8%だった。また、「絶対に協力したくない」「あまり協力したくない」の合計は 19.6%だった。

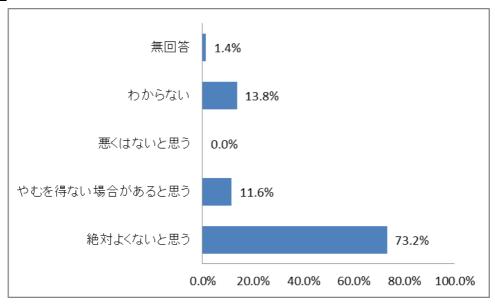
<問8は、<u>問7で「3あまり協力したくない」又は「4絶対に協力したくない」と答えた方</u>におたずねします> 問8 協力したくないのは何故ですか。1つだけ選んでください。



		回答者数	暴力団が恐いから	余計なことに 関わりたくな いから	住民運動全 般に関心が ないから	その他
全	È体	27人	51.9%	37.0%	7.4%	3.7%
小什 早山	男性	4人	50.0%	25.0%	0.0%	25.0%
性別	女性	23人	52.2%	39.1%	8.7%	0.0%
	20歳代	5人	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%
	30歳代	12人	66.7%	25.0%	8.3%	0.0%
左‰미	40歳代	4人	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%
年齢別	50歳代	3人	33.3%	0.0%	33.3%	33.3%
	60歳代	3人	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	70歳以上	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	門司区	3人	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%
	小倉北区	5人	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%
	小倉南区	10人	60.0%	20.0%	10.0%	10.0%
区別	若松区	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	八幡東区	2人	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	八幡西区	4人	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	戸畑区	3人	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%

「暴力団が恐いから」が 51.9%で、「余計なことに関わりたくないから」が 37%で、「住民運動全般に関心がないから」が 7.4%だった。

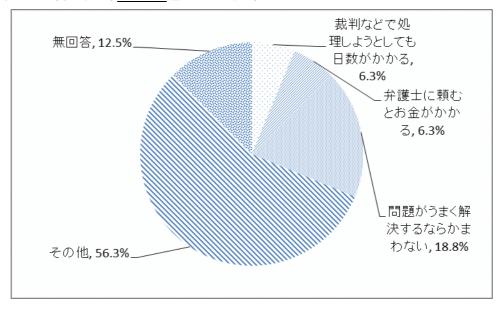
**間9** 暴力団などを利用して、もめごとの処理を行う人がいますが、あなたはこのようなことについてどう考えますか。1つだけ選んでください。



			絶対よくないと思う	やむを得 ない場合 があると思 う	悪くはない と思う	わからない	無回答
全体		138人	73.2%	11.6%	0.0%	13.8%	1.4%
₩ DJ	男性	53人	75.5%	13.2%	0.0%	11.3%	0.0%
<u>性別</u>	女性	85人	71.8%	10.6%	0.0%	15.3%	2.4%
	20歳代	9人	55.6%	22.2%	0.0%	22.2%	0.0%
	30歳代	39人	66.7%	7.7%	0.0%	23.1%	2.6%
左热叫	40歳代	21人	81.0%	9.5%	0.0%	9.5%	0.0%
年齢別 	50歳代	17人	70.6%	11.8%	0.0%	17.6%	0.0%
	60歳代	37人	81.1%	10.8%	0.0%	5.4%	2.7%
	70歳以上	15人	73.3%	20.0%	0.0%	6.7%	0.0%
	門司区	21人	81.0%	4.8%	0.0%	9.5%	4.8%
	小倉北区	27人	74.1%	11.1%	0.0%	14.8%	0.0%
	小倉南区	30人	56.7%	20.0%	0.0%	20.0%	3.3%
区別	若松区	9人	66.7%	22.2%	0.0%	11.1%	0.0%
	八幡東区	12人	83.3%	8.3%	0.0%	8.3%	0.0%
	八幡西区	32人	81.3%	6.3%	0.0%	12.5%	0.0%
	戸畑区	7人	71.4%	14.3%	0.0%	14.3%	0.0%

「絶対によくない」が 73.2%で、「やむを得ない場合がある」が 11.6%と容認の意識がある。「悪くはない」は一人 もいなかった。

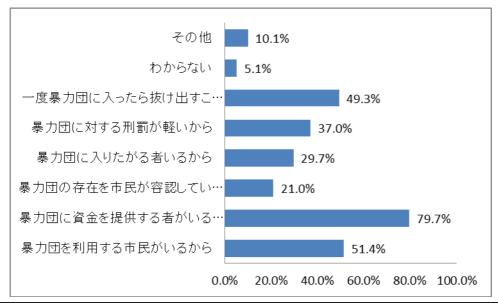
<問10は、<u>問9で「2やむを得ない場合があると思う」又は「3悪くはないと思う」と答えた方</u>におたずねします> **問10** そう思う理由は何ですか。1つだけ選んでください。



		回答者数	裁判などで 処理しようと しても日数 がかかる	弁護士に頼 むとお金が かかる		問題がうま く解決する ならかまわ ない	その他	無回答
全体		16人	6.3%	6.3%	0.0%	18.8%	56.3%	12.5%
性別	男性	7人	0.0%	0.0%	0.0%	42.9%	42.9%	14.3%
生力	女性	9人	11.1%	11.1%	0.0%	0.0%	66.7%	11.1%
	20歳代	2人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	30歳代	3人	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%
   年齢別	40歳代	2人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%
<del>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</del>	50歳代	2人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%
	60歳代	4人	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%	50.0%	0.0%
	70歳以上	3人	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%
	門司区	1人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	小倉北区	3人	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%
	小倉南区	6人	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	50.0%	33.3%
区別	若松区	2人	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	八幡東区	1人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	八幡西区	2人	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%
	戸畑区	1人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

問9で「やむを得ない場合がある」「悪くはない」と答えた人のうち、その理由として「その他」と答えた人が 56.3%だった。具体的には、「もめ事の相手が暴力団の可能性もある」「警察が対応できない事など、自分の命 を守るための一つ選択肢」などがあがっている。

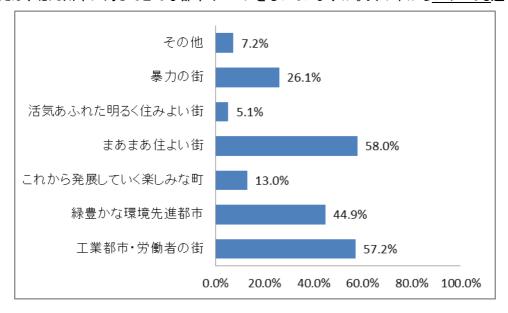
**問11** あなたは、暴力団はどうして存在するのだと思いますか。次の中から<u>いくつでも</u>選んでください。



		回答者数	暴力団を 利用する市 民がいるか ら	暴力団に 資金を提 供する者が いるから	暴力団の 存在を市 民が容認し ているから	暴力団に 入りたがる 者いるから	暴力団に 対する刑罰 が軽いから		わからない	その他	無回答
全体		138人	51.4%	79.7%	21.0%	29.7%	37.0%	49.3%	5.1%	10.1%	0.0%
44 Dil	男性	53人	56.6%	71.7%	26.4%	34.0%	45.3%	41.5%	1.9%	17.0%	0.0%
性別	女性	85人	48.2%	84.7%	17.6%	27.1%	31.8%	54.1%	7.1%	5.9%	0.0%
	20歳代	9人	55.6%	55.6%	11.1%	11.1%	22.2%	22.2%	22.2%	0.0%	0.0%
	30歳代	39人	43.6%	87.2%	15.4%	38.5%	17.9%	56.4%	5.1%	10.3%	0.0%
左松叫	40歳代	21人	42.9%	81.0%	9.5%	23.8%	33.3%	47.6%	4.8%	9.5%	0.0%
年齢別	50歳代	17人	47.1%	76.5%	17.6%	35.3%	47.1%	58.8%	0.0%	11.8%	0.0%
	60歳代	37人	59.5%	78.4%	32.4%	27.0%	43.2%	48.6%	2.7%	8.1%	0.0%
	70歳以上	15人	66.7%	80.0%	33.3%	26.7%	73.3%	40.0%	6.7%	20.0%	0.0%
	門司区	21人	52.4%	66.7%	28.6%	14.3%	23.8%	52.4%	9.5%	14.3%	0.0%
	小倉北区	27人	59.3%	77.8%	14.8%	40.7%	40.7%	48.1%	11.1%	14.8%	0.0%
区別	小倉南区	30人	53.3%	76.7%	23.3%	30.0%	33.3%	43.3%	0.0%	10.0%	0.0%
	若松区	9人	55.6%	88.9%	66.7%	22.2%	44.4%	77.8%	0.0%	0.0%	0.0%
	八幡東区	12人	33.3%	91.7%	16.7%	33.3%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	八幡西区	32人	43.8%	84.4%	9.4%	28.1%	46.9%	46.9%	6.3%	12.5%	0.0%
	戸畑区	7人	71.4%	85.7%	14.3%	42.9%	42.9%	85.7%	0.0%	0.0%	0.0%

「暴力団に資金を提供するものがいるから」「暴力団を利用する市民がいるから」が前回同様1位、2位であるが、「暴力団から抜け出すことが困難だから」が前回から順位をあげ、3位となった。

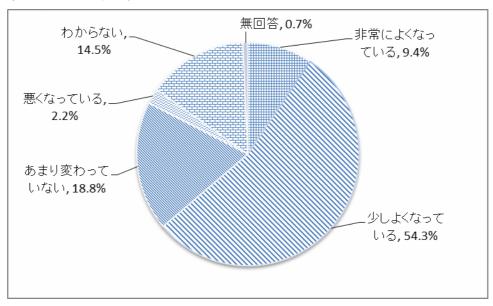
**問12** あなたは、北九州市に対してどんな都市イメージをもっていますか。次の中から<u>いくつでも</u>選んでください。



		回答者数	工業都市・ 労働者の 街	緑豊かな 環境先進 都市	これから発 展していく 楽しみな町	まあまあ住 よい街	活気あふ れた明るく 住みよい街	暴力の街	その他
全体		138人	57.2%	44.9%	13.0%	58.0%	5.1%	26.1%	7.2%
₩ DJ	男性	53人	64.2%	58.5%	11.3%	58.5%	3.8%	30.2%	3.8%
性別	女性	85人	52.9%	36.5%	14.1%	57.6%	5.9%	23.5%	9.4%
	20歳代	9人	33.3%	22.2%	11.1%	33.3%	11.1%	33.3%	0.0%
	30歳代	39人	48.7%	30.8%	15.4%	46.2%	5.1%	30.8%	7.7%
左振叫	40歳代	21人	42.9%	52.4%	19.0%	57.1%	4.8%	9.5%	14.3%
年齢別	50歳代	17人	64.7%	52.9%	5.9%	58.8%	5.9%	35.3%	5.9%
	60歳代	37人	64.9%	56.8%	13.5%	67.6%	5.4%	21.6%	5.4%
	70歳以上	15人	86.7%	46.7%	6.7%	80.0%	0.0%	33.3%	6.7%
	門司区	21人	61.9%	47.6%	9.5%	71.4%	4.8%	23.8%	4.8%
	小倉北区	27人	44.4%	44.4%	14.8%	59.3%	11.1%	25.9%	14.8%
区別	小倉南区	30人	53.3%	43.3%	13.3%	46.7%	6.7%	23.3%	6.7%
	若松区	9人	66.7%	66.7%	33.3%	77.8%	0.0%	22.2%	11.1%
	八幡東区	12人	41.7%	33.3%	0.0%	33.3%	8.3%	33.3%	8.3%
	八幡西区	32人	68.8%	37.5%	12.5%	62.5%	0.0%	28.1%	3.1%
	戸畑区	7人	71.4%	71.4%	14.3%	57.1%	0.0%	28.6%	0.0%

「まあまあ住みよい街」が58.0%で1位となった。また、「暴力の街」が前回調査から減少している。

問13 北九州市では、警察その他の関係機関・団体と連携し、暴力追放運動に積極的に取組んでいますが、以前と比べて変わったと思いますか。



		回答者数	非常によく なっている	少しよく なっている	あまり変 わっていな い	悪くなって いる	わからない	無回答
全体		138人	9.4%	54.3%	18.8%	2.2%	14.5%	0.7%
## □1	男性	53人	9.4%	60.4%	17.0%	1.9%	11.3%	0.0%
性別	女性	85人	9.4%	50.6%	20.0%	2.4%	16.5%	1.2%
	20歳代	9人	0.0%	44.4%	22.2%	11.1%	22.2%	0.0%
	30歳代	39人	10.3%	43.6%	28.2%	2.6%	15.4%	0.0%
左监回	40歳代	21人	4.8%	57.1%	14.3%	4.8%	19.0%	0.0%
年齢別	50歳代	17人	5.9%	64.7%	17.6%	0.0%	5.9%	5.9%
	60歳代	37人	16.2%	59.5%	10.8%	0.0%	13.5%	0.0%
	70歳以上	15人	6.7%	60.0%	20.0%	0.0%	13.3%	0.0%
	門司区	21人	19.0%	57.1%	9.5%	4.8%	9.5%	0.0%
	小倉北区	27人	7.4%	48.1%	25.9%	0.0%	18.5%	0.0%
	小倉南区	30人	13.3%	60.0%	10.0%	0.0%	16.7%	0.0%
区別	若松区	9人	0.0%	66.7%	11.1%	0.0%	11.1%	11.1%
	八幡東区	12人	0.0%	58.3%	16.7%	8.3%	16.7%	0.0%
	八幡西区	32人	6.3%	50.0%	34.4%	3.1%	6.3%	0.0%
	戸畑区	7人	14.3%	42.9%	0.0%	0.0%	42.9%	0.0%

「よくなっている」の合計が 63.7%で、全体の 6 割以上を占めている。また「悪くなっている」は 2.2%で前回から減少した。

- **問14** 暴力追放について、その他ご意見がありましたらご自由にご記入ください。 76件の記入があり、主なものは次のとおりです。
- 市、警察を中心に暴力追放運動が積極的になっている。また、他府県警の応援の方々とも町で挨拶したら何か心強い気もした。私は数年前の鍛治町の事件の時近くのビルに勤務していた、また20年ほど前工事関係で、それらしきグループの一員と話し合いも持ったこともある。大掛かりな運動と行動そして「個」の強い草の根的な活動が出来ないものかと考えている。具体的には難しいだろうが、市と警察が手を緩めることなく市民を守り活動を継続していくしかないと思う。長い「闘い」になろう。
- 北九州市には長年住んでいます、どこで暴力団が絡んでいるのか未だに分かりません。私自身は経験がありませんが、身近なところで暴力団に脅されたなどの話は聞いたことがありますし、(その身近な人たちは、至って普通に生活しています)正直怖いな一と思っています。ロケットランチャーが先日も市内で発見されましたし、また市内で暴力団がらみの事件があったことをテレビや新聞で見ると、本当に怖いです。他県の人からも「北九州っていえば、暴力団がいっぱいいるんでしょ?」と言われると、悲しい気持ちになります。暴力団がいないと、北九州は本当に素敵な街だと思うし、とても住みやすい街になるのではないかと思います。私自身、北橋市長になられて、こんなに大きく暴力追放活動を行っていただき、以前に比べて「怖い」という感情はなくなってきました。なので、ぜひとも今後も追放活動、よろしくお願いいたします。
- 数年前から夜の小倉の街などで警戒中の警察官を頻繁に見かけるようになったのと、私の家の近所で以前 銃撃事件があってからも夜間見回りのパトカーをよく見かけるようになりました。警察官の姿が見えるところに あるだけでも、犯罪発生数は激減すると思うので、今後も続けて欲しいと思うのと、実際に警察や市役所などに 相談に来る市民一人単位でも、しっかり守ってあげて欲しいと思います。
- 基本的には、本気で根絶するという気構えが足りないと思います。勿論、簡単に出来るものとは思っていませんが、県警や市警のトップクラスの方の就任会見等では、必ず暴力団追放を徹底する旨の抱負を語られますが、暴力団がらみの事件が後を絶たないというのは、酷な言い方ですが、本気でのヤル気度が足りないということではないでしょうか。
- 警察当局がその方針として、暴力団という組織そのものの壊滅に追い込もうとしているのか、その犯罪防止に徹底的に取り組もうとしているのか、良く理解できない。もし前者であるとすれば、犯罪と言う側面を除いて考えた場合、暴力団も社会を構成する組織のひとつであり、組員もその組織に属する生活者という視点が欠落しているのではないかと思われる。ましてや、暴力団員と関わりをもった一市民を罰するなどという法は、市民を守るという警察の責任を放棄した本末転倒の悪法というしかない。こんなやり方では組織を徒に孤立化、先鋭化させるだけであり、良い結果を生むとは到底思えない。警察当局は犯罪防止という唯一点に特化して活動を徹底すべきであり、組織の有り様の問題は別の視点も交えて取り組むべきかと思う。
- ある市民センターでは、校区に暴力団組織があるからでしょうか?一切暴力追放のキャンペーンやポスター を貼りません。館長にお伺いしますと、『変な正義感』は必要無いと言われてしまい、「変な?は どっちか?」と 言うのを押し黙りました。
- 官民の協力で確かに暴追は進んでいます。しかし他県市民の北九州市へのイメージは予想以上に悪化しています。工場や支店進出話で「北九州は暴力団がすごいから」と断念した話を今も多く聞きます。出張のホテルでもわざわざ博多(福岡市)泊にする人もいます。悲しい現実です。暴力追放ではなく「暴力団壊滅」を完遂しない限り北九州市のダーティーイメージは消えません。暴力団を容認する市民がいる限り北九州市に明日はないと私は思います。
- 以前から「ガラが悪い」というのが北九州市のイメージとして定着しており、とても悲しく思います。その大きな要因が反社会的勢力の件だと推測され、昨今の事件などが大きく報道されるのも苦々しく感じます。しかし、こうした事項が急速に改善されることは難しいでしょうから、徐々に改善できるよう一般市民が辛抱づよく心がけていくしかないのだろうと思います。
- 警察と役所が一体になって暴力追放を今後とも続けて欲しい。住み慣れているから、そうは思わないが、全国から見れば、かなりイメージの悪い(暴力団がらみ)都市だと思われている。

- 全国的に北九州市は暴力団での揉め事で知られてしまっていると思います。ニュースなどで、○○組と△△ 組が~などと放送されるにつけ、怖いところに住んでいると思われているだろうなと感じています。この問題は 本当に難しい問題だと思います。一般市民にとっては、やはり怖い存在ですし、対峙することすらできません。 根本的な考え方が変わらない限り、追放は難しいのでは・・・。
- 本件に関する日頃からの市や警察はじめ関係当局の取り組み、ご苦労さまです。一気に良くはならないでしょうけど、このような地道な活動が必ずや成果を上げていくものと信じています。北九州市は、環境やエコの面でモデル都市になろうとしていますが、残念ながら安全安心の面では全国レベルでかなり低いと言わざるをえません。名実ともにモデル都市となるためにもこの暴力問題は最優先で取り組んでいく課題ではと思っています。
- 本来、警察庁等の行政機関が真剣に取り組むべき問題(飲酒運転追放運動しかり)、かけ声運動以上に刑罰等を大幅に重くしないことには抜本的解決策にはならない!法改正意識を高揚して改善していただきたい。
- 常に集会(講演会)やマスコミ報道で、暴力団の付け入る隙を与えないこと。また、暴力団を増やさないために は若者の雇用対策に力をいれることだと思います。
- 市役所に被害相談窓口があると今回知ったので、もしそういうことがおきたら、市役所に相談したいと思います。
- 市民運動も勿論よいけれど、会社や政治家など表には出ずに裏でつながっているのではないか?癒着、金 銭問題、つながっているのなら、こちらも内密に積極的に動いて排除してほしい。
- 市内を運転していても、パトロール車両を見ない日はないですし、他県からの応援も非常に有難いと思っています。その一方、TVをつけると暴力団絡みのニュースをよく目にし残念に思っています。我が家は他県からの転勤族ですが、やはり引っ越してくるときは心配でしたし、1 年経った今も車の運転中等は常に他県では感じない種類の緊張感を持っています。
- 何らかの痛みは仕方ないで近隣都市との連携もしっかりして市民県民一丸で追放してゆければと思う。一人 の力では出来ないが(やはり危ないし怖いので) 決起集会など参加できることがあれば多くの人がするべきと 思う。
- 北九州市は他の政令市とくらべると、市民文化の中に「暴力」に対しては、比較的に容認するところがあるようにおもわれます。「暴力追放」の問題はかなり時間がかかる問題ではありますが、北九州市が日本有数の工業地帯だったころから歴史的にも「暴力団」などの反社会的集団などを、利用してきた産業界などがあったと認識しております。したがって、そのような長い時間の中で培われてきた市民の中の「暴力」に対する甘い認識を持つ「文化」を一新していかなければいけないと考えております。時間がかかると思いますが、北九州市から「暴力団」などが無くなるまで、そして他府県の警察が応援派遣されなくてもよい街に行政、市民ともども努力をいたしましょう。
- お魚が美味しい街、黒崎の商店街の自販機に放火したり、暴力団の報復があったのを目の当たりにして、恐かったですが、ここで、脅しにのると今までの暴追運動の意味がなくなるので、今まで以上に警察・市ぐるみでがんばって欲しい。安全な街であって欲しい。
- 住んでいる者としては自然豊かで交通の便もよく、住みやすい街だと感じます。しかし、他県の方々からは「怖い街」だというイメージがとても強いようです。パトロールの巡回のパトカーの多さに友人が驚いていました。少しずつそういった負のイメージがなくなればと願っています。
- 暴力団に対してもう少し厳しく取締りをして欲しい。北九州市の人口が100万人を切り減って行く事の理由に も一部暴力団事件があり住みにくい市のイメージが大きくあるのではないかと思っています。
- 現実に被害を受けていないので分からない。組事務所の近くに住んでいる人は大変だと思う。ニュースを見て 感じるくらいです。防犯カメラの設置はもっと増やしていいと思う。
- 暴力を追放しようという呼びかけ(TV, 新聞)はよいと思うが、情けないのは具体的な対応策だ!!窓にステッカーを表示したとして危害を加えられ恐ろしくて生活できませんよ!つまり警察との連携がうまくいってないからだ。しかし、強い圧力に負けて、したがっているのが現状ではないだろうか。勇気ある行動を市民が持つためには後押し(警察)がきちっと出来ているということが前提となる。「何かあったときには対応する」は従来20年前の話だ。現在は情報連絡があったら日夜24時間きちっとした対応をして欲しい。警察がサラリーマン化しないことです。

- O A 暴力により社会秩序を乱す人物・集団が現れた場合、現在の法体制・組織体制では費用・解決までの時間等から十分に機能しているとは言い難く、暴力等により威圧しようとする人物・集団を東ねて規制する 「暴力団]等の組織が、俗に言う「必要悪」として社会に存在する意義があるため。
  - B「暴力追放」のための私見
    - 1 「民·官」協力による体制 従来の「官」だけではなく「民」にも「暴力追放」の一翼を担わせるには、まず 「官」(行政・公務員・警察)が先頭に立って取り組む姿勢を示す。
    - 2 協力する「民」の安全の確保 協力者・企業に対する警備体制の強化例。危険に遭遇した場合に即座に 通知できる直通の警報装置の配布
    - 3 「協力者」に対する特典の付与 協力者・企業に対して減税等の特典を付与し、「暴力追放」の意識を高める。
    - 4 「暴力追放」違反に対する刑罰の強化 刑罰を強化することにより、「暴力」を利用するメリットをなくす。
    - 5 「暴力」を利用せずに問題を解決できる法体制・組織体制の構築・強化 例、時間・費用を要しない簡易 組織の設置
    - 6 「暴力追放」に対する法制度・組織の内容のPR強化
- ○「暴力団」を「必要悪」だと言う人がいる。その安易な考え方、「容認」が暴力団の存在を許している要因。構成 員、準構成員の区分、仕訳は警察当局が行うもので、また警察のみが知り得ること。区分は市民にとって問題 ではなく、市民生活のあらゆる場所・環境に暴力団は潜んでいる。小倉駅から北方方向に夜の街の「客引き」 は地元民にとっても旅行者にとっても不愉快であり、且つ脅威となっている。この現実を警察当局・北九州市は 直視し、安全な街づくりを急ぐべきだ。「北九州市警」が制度的に存在することからも、市長の責務は重い。この 実現に勇気を持って臨まなければ企業誘致は実現しない。

#### Ⅳ 全体考察

民事暴力相談センターは、昭和62年10月に暴力団等からの被害を受けた市民や企業が気楽に相談できる行政の窓口として、全国に先駆けて開設した。さらに平成25年4月1日、組織改変により交通事故相談、民事介入暴力相談、犯罪被害者相談、生活環境パトロールを統合して、安全・安心相談センターが発足した。

また、暴力団対策で、福岡県警察本部も平成22年1月に刑事部内にあった組織犯罪対策局を部に格上げし、「暴力団対策部」を発足、「北九州地区暴力団特別捜査室」を「北九州地区暴力団犯罪捜査課」に格上げし、さらに平成25年4月、組織犯罪対策課の中に「保護対策室」を新設し、暴力団の弱体化・壊滅に向けた体制を強化し重点的に取組んでいる。

さらに、福岡県では平成22年4月に全国初となる罰則規定を盛り込んだ「福岡県暴力団排除条例」を施行し、 平成25年6月1日には、暴力団排除に立ち上がり、また立ち上がろうとする事業者を保護するため、特定の事業 者に対する暴力団の不当な影響を排除するための措置が追加規定された「改正福岡県暴力団排除条例」が施行 され、本市でも平成22年7月に市民が安心して暮らせる社会の実現、社会経済活動の健全な発展に寄与するこ とを目的に「北九州市暴力団排除条例」を施行したところである。

このアンケートでは、本市が県警察、市民と緊密に連携して推進している暴力団対策の市民認知状況及び民事介入暴力や被害相談の状況を調査し、今後の取り組みに生かすため実施した。

その結果は市の相談窓口の認知度では 57.2%で前回調査の平成23年度の調査の 60%から若干減少し、「全く知らない」は前回の 40%から 40.6%と横ばい状態である。特に 20 歳~30 歳代の「全く知らない」との回答が、前回の 52.9%から 77.8%と大きく増加し、認知度のなさがわかった。また、暴力追放に向けた取り組みで「暴力追放大会や講演会の開催」が 42.8%と前回の 52.4%から認知度が下がった。

民事介入暴力の状況では、暴力団から不当な要求を受けたことのあるものはいなかったが、仮に不当な要求を受けた場合の対応では、「他に相談する」が 76.1%と圧倒的に多く、「要求を拒否する」が2位で 20.3%であった。 条件付「要求に応じる」が 3.6%で前回は 7.2%であることから 3.6 ポイント減少した。

また、相談相手は「警察」「市の相談窓口」の順になっており、友人や親・親戚などの身の回りの人より、行政機関を頼りにしている姿が見える。

暴力団追放の住民運動への参加意識では、参加協力について肯定的な意見が前回の 62.9%から 68.8%と増加し、否定的な意見は 17.8%から 19.6%と若干増加した。

参加に否定的な理由は、「暴力団が恐いから」が 51.9%、「余計なことに関わりたくないから」が 37.0%と前回同様1位、2位であるが、指数としては増加しており、「住民運動に関心がない」が 7.4%いることから無関心層が一定数いることが伺える。

もめごとの処理に暴力団を利用することの可否については、「絶対によくないと思う」が 73.2%と前回の 84.3%から減少している。また、「やむを得ない場合があると思う」が 11.6%で前回 7.1%から増加しており、暴力団との関わりを容認する市民意識が若干増加したことが覗える。

暴力団の存在については、暴力団に「資金を提供する者がいるから」「利用する市民がいるから」「刑罰が軽いから」などが上位を占め、暴排活動の根幹を理解しているものと思われる。

都市イメージの項目は「暴力の街」が 26.1%で前回の 36.4%から 10.3 ポイント減少していることから、繁華街の警察官のパトロール増強、防犯カメラの設置等の対策により、銃発砲事件などを防圧しており、街が以前と比べ「良くなっている」が 63.7%で前回 38.5%から大幅に増加している。

暴力団を利用して、もめごとの処理を行う人は「絶対良くない」が 73.2%に達しており、暴追に対する市民の理解 が進んでいることが覗えた。

また、暴力団に不当な要求を受けた場合、どこに相談するかの問いかけに対し、「市の相談窓口」「市の法律相談」を合わせた指数が39.1%で、今後、新しく発足した「安全・安心相談センター」の認知度を高めるとともに、「北九州市暴力排除条例」に基づいた暴力団排除の広報、啓発活動の一層の強化が求められる。

-	1	9	-

【市政モニターに関すること】

市民文化スポーツ局市民部広聴課 (Tel: 582-2527)

【アンケートに関すること】

市民文化スポーツ局安全・安心推進課(社:582-2911)